

第2部課程第168期（平成25年10月22日～12月27日）

課 目 名	3-2 政策形成の手続きと戦略
時 限 数	4 時限
担 当 講 師	首都大学東京大学院教授 大杉 寛 <プロフィール> 1997年 東京大学大学院総合文化研究科より博士（学術）取得 1996～1999年 成城大学法学部専任講師 1999～2005年 東京都立大学法学部助教授 2005年4月～ 現職 その間、ジョージタウン大学客員研究員、政策研究大学院大学客員教授（現職）
ね ら い	地方分権の進展に伴い、自治体における戦略的な政策形成の必要性が求められる。本講義では、自治体政策マネジメントについて、具体的な事例を通じて、その基本的な考え方を理解することをねらいとする。
講 義 概 要	〔構成〕下記の各項目を予定している。 I 戦略的政策マネジメント：自治体において政策マネジメントを考える意義を地方分権などの観点から再確認する。 II 政策の実践的把握：政策は行政実務上さす以上の広がりを持つ概念であることを示す。なお、本講義では簡明に目的・手段関係と捉える。 III 政策開発の作法：政策開発に焦点を当ててその実践的な手法や理論的枠組みを紹介し検討する。 IV 政策の実効性確保：良き政策が成果を得られるような実効性の確保策について具体的な政策例を通じて検討する。 V 政策形成と住民参加：政策形成の手続きで不可欠な住民参加について検討する。
受講上の注意	事前学習として、以下のテーマについて、<u>A4で一頁以内のレポートを提出</u>すること（提出方法は教務部の指示によること）。【設問】これまで携わった業務のなかから1つ取り上げ、政策という観点から分析せよ。
使 用 教 材	拙稿連載講座Ⅱ『月刊自治フォーラム』2010年4月号～2011年3月号掲載
効 果 測 定	なし
そ の 他 (他の課目との関連)	質問等は、E-mail: stohsugi@gmail.com まで。